

一般質問

2日間にわたって行なわれた一般質問は、門脇市長にとって初めてのことで、慎重にしかも丁寧な答弁に終始した。

質問に登壇した議員各位も新市長に対する質問だけに、従来とやや違った雰囲気一般質問が行われた。新市長の対応ぶりを心配してか傍聴に訪れた人もいた。

市長の公約いわゆるマニフェストについて、佐藤議員、田口（勝）議員が、高校問題は小林議員。内陸線問題は門脇議員が質問。農林業問題をとり上げたのは平岡議員。藤原議員は環境問題を安藤議員がまちづくりの推進体制。大石議員は観光と農業の振興について、佐々木議員は医療再生について質問に立った。

所得アップの具体策は 多分野の課題に取りくむ



佐藤直樹

質問 市長選挙時の公約の中にある「4年間で所得を10パーセント以上増やす」という

答弁 総合産業研究所それぞれの分野で仙北市が今後発展するための基本的

な調査及び実証・検証を行う施設と考えている。

行う具体的な業務として、農林業においては、地域に合った作目の選定の研究、栽培技術の確立の研究等。

食品加工産業の育成、新しい商品作りの研究、生産物や商品の流通形態の研究等。

観光面では、観光資源の他の分野との連携による商品作りの経済的効果の研究等を考えている。

研究成果については、市民にはその技術や知識を使っていただくことにより、生まれた技術などが地域産業を新たな局面に押し上げて行く役割として重要なものと考えている。



白岩地区のサポートセンターになるか（集落センター）

多分野にわたる研究を行うことで職員数は今後の検討課題ではあるが、新年度には開設したいの思いでいる。

質問 市民分権の考え方について、市内を昭和の合併前の9つの地域に対し「地域運営体」を立ち上げ、地域の産業育成、福祉問題、安全対策等を行うとあるが、その考え方と具体的な内容についてを問う。

答弁 それぞれの地域の協働する地域運営体を組織し、想定する機能としては、行政サービスの窓口や心配ごとの解決、防災センターの役割、地域の各種団体の事務的役割、カルチャースン

ター的役割等である。

質問 行財政改革に関して、現在の分庁舎方式に対する考え方と、新庁舎建設に関する方向性は。

答弁 分庁舎方式は非効率と考えている。新庁舎建設に関して、今日まで内部で検討

されてきた内容にまだ不足する部分があると判断し、一旦凍結し、今後は市民にとってどのような機能が市役所には必要なのかを議論し、「市役所は市民のもの」という考えのもと方向付けをして行きたい。

高校統合問題のスタンスは 仙北市として方向づけする



小林幸悦

質問 県立高校2校の存続の見通しと今後の取り組みについて伺う。

市長はマニフェストの中で、高校の再編は広く市民から意見を聞き、有るべき姿を探り、教育委員会と共に1年以内で判断を下すと言われている。この問題は合併前の角館町議会でも県の教育委員会に統合存続の願

いしている。また合併後の仙北市議会でも2校の並列存続を実現する会からの要望書が提出され特別委員会が設置され結論として、仙北市にふさわしい高校教育の体系を新たに、構築すべきであるとの報告がされている。仙北市の首長となった今、この問題にどんなスタンスで望むのか考えを伺いたい。

答弁 県立高校2校の存続の見通しと今後の取り組みについてであるが現在県には第5次秋田県高等学校総合整備計画があり、計画期間は（平成13年度～平成22年度までの10年間となつて